

建設資材の販売や工事施工、住宅の新築・リフォームなど、建設関連分野で幅広い事業を手掛けるクワサワグループ。物流部門3社（山光運輸、サツイチ、札幌アサノ運輸）の社長に就



いた信太孝樹氏（59）は「ドライバーが『この会社で働いて本当に良かった』と胸を張れる環境をつくるのが、自分の最大の任務」と話す。就任の抱負や今後の方針を聞いた。

クワザワG物流3社

信太 孝樹氏

専門性生かしスクラム

—2025年12月に札幌アサノ運輸（札幌市白石区）社長に就き、26年1月からは山光運輸（同）、サツイチ（北区）の社長も務めている。

3社は北海道の経済や暮らしを支えてきた、歴史と伝統ある会社で、重責に身の引き締まる思い。顧客にはさらなる安心を、社員には働きがいを提供できるよう、全身全霊で取り組んでいる。

—3社の事業内容は。山光運輸は道内の石膏ボード輸送で90%以上のシェア

いる点が強みだ。経営環境が変化する中、連携強化に注力する。—

3社が異なる専門性をもちながら、一つの強力なネットワークとして機能して

ドライバー「会社の宝」



に山光運輸が建材を運び、札幌アサノ運輸がセメントを投入するといった形だ。顧客の多様なニーズにワンストップで柔軟に答えられる、北海道ナンバーワンの総合物流サービスを目指す。

—人材確保も重要だ。ドライバーは会社の宝であり「人財」。この宝をいかに守り、育て、確保していくかが、経営者人生を懸けた命題だ。3社は北海道

（朽木崇洋）